
ろんりークリスマス

棒人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ろんりークリスマス

【NZコード】

NZ8059N

【作者名】

棒人間

【あらすじ】

クリスマス 行動しなさい 女の子 (字余り)

つと言った作品になつてます。

(前書き)

キャラの扱い…
こちらも纏まりが無いですね。

ハッピー クリスマス！！

「あー、ちょっとそれ取つてーー！」

「はいはい。」

「ちょっとお、それ私が食べようとしたのにーー。」

「(S)は戦場なのーそんな悠長な事いつてんじゃないのー！」

…みんな元気だねえ。

今日はともみ、ゆつちゃん、みゆそして私で集まってクリスマスパーティー。

今年こそは彼氏を作りと頑張った歴戦の兵達の慰安パーティーともいつ。

私も勿論その1人。

と、いつてもアプローチすらしないんだけど。

私の好きな人はお隣の人。

引っ越してきてすぐの時ちょっと助けてもらつて好きになった。
我ながら単純でちょろい奴だと思つ。

「あんちやもおこつひひてのみえー！」

「しようだあーのみえー！」

私はアンデッド族の仲間入りはしたく無かつたのでみゆの元に退避

した。

みゆ隊長は見事アンテナ達を退けた。

「つたぐ、もう…大丈夫？ 彼奴ら毎回あんなんだからねえ。」

「うん、ありがとう。」

余りお酒を飲めない私はオレンジジュースを飲んだ。
みゆはゆず酒を。

一息ついたところでみゆに訊かれた。

隣の彼との事だわ。

特に無いと答えるとみゆにため息をつかれた。

「ちよつとー隣なんだから頑張んなよ。」

確かにそつなんだけど。

「面識無い訳じゃないだしそこで仲良いんだしょ？」

「う、うん。」

「私達なんかほつといて彼をどうか誘えば良いじゃない。」

一気に言われて確かに正論なんだけど…。

「断られた時が怖い、とかかんがえてるんでしょ？」

今ザクツと音が聞こえた気がした。
全くもつてその通りです。
私はチキンなのです。

「 じょ う が な い 奴 だ な あ 君 は ！ ？ ん だ く れ 達 帰 る よ ー 。 」

勿論不平不満が飛んでくる。

みゆは慣れた動きで2人の襟を掴んでズルズルと出ていった。

なんだか嵐の様だなあ。

ともあれ、これでやらねば女が廃る！

といつより、みゆに後日叱られる！

良き友の計らいに感謝しつつ家を出てお隣へ向かった。

そう、いつもの様に気軽に誘えれば良いんだ。
チャイムを押し、深呼吸をする。

大丈夫。

戸が開いて彼が出迎えてくれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8059z/>

ろんりークリスマス

2011年12月25日20時55分発行